



感謝の心（4月の教室に）

今日は、美化作業でした。一生懸命に、一年間使った教室や下駄箱、3年間使った校庭などそれぞれみんなで分担して掃除をしました。掲示物をはがしたり、雑巾がけをしたりするなかで、生活していた空間が、最初の無機物な空間へと変わっていくのに気が付いたと思います。教室には、最初に決めた学級目標が貼ってあるだけだと思います。廊下の進路の掲示物やあなたがたの足跡を記録した新聞なども3月11日（木）の卒業を控えて、はがされました。何度、経験してもこの卒業前の美化作業は寂しさを感じます。

来年の3年生のために、4月に渡された以上にきれいな教室にして巣立っていきましょう。「立つ鳥跡を濁さず」です。

お母さんの目に涙

美化作業にきていただいたお母さんに、美化作業が終わった後に1・2年生が3年生のために、飾りつけをしてくれた下駄箱や階段、廊下を見てもらいました。「こんなにお祝いしていただけて、涙が出ますね。ありがとうございます。」と感動していました。これほど、下駄箱から教室までを「卒業おめでとうございます」のメッセージで包まれている学校はないと思います。

さまざまな掲示物をとった後に、この下級生の飾り付けてくれたお祝いのメッセージが3年生の心を癒してくれています。階段の一段一段に書かれたメッセージをまだ読んでいない人は、読んでくださいね。

来週の月曜日の予行練習では、城山中学校の代々の3年生が卒業式で歌ってきた「大地讃頌」を全力で1・2年生の前で、歌い上げてください。お礼の気持ちを込めて、心を合わせて合唱をしてください。きっと、みんなの気持ちが聞いている人に届くはずです。全力で！この歌は全力で歌わなければ歌えませんので。頑張ってください！